

ファン・ゴッホ美術館ってどんな場所？



現在のファン・ゴッホ美術館 2015年撮影



ファン・ゴッホ美術館建設現場のフィンセント・ウィレム、1970年
©unknown

オランダのアムステルダムにあるファン・ゴッホ美術館は、1973年にオープンしました。フィンセントの芸術を世界に伝えたいという家族の思いから生まれました。弟テオの妻ヨーは、それまで美術と関わりのない生活をしていましたが、テオから話を聞き、フィンセントの作品にふれるうちにその良さを知り、美術に関する知識を身につけました。テオの死後は、フィンセントの作品を紹介する活動を続けました。その思いは息子フィンセント・ウィレムに受けつがれ、美術館がつくられました。今では世界中の人が訪れる場所です。

大阪・関西万博開催記念 大阪市立美術館リニューアル記念特別展
ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢

〔会期〕2025年7月5日(土)―8月31日(日)
〔休館日〕月曜日、7月22日(火)※ただし、7月21日(月、祝)、8月11日(月、祝)、8月12日(火)は開館
〔開館時間〕午前9時半～午後5時 ※土曜日は午後7時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで
〔会場〕大阪市立美術館 〒543-0063 大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1-82
| 公式サイト | <https://gogh2025-26.jp>
| 展覧会公式SNS | @gogh2025_26
| お問い合わせ | 大阪市総合コールセンター なにわコール 06-4301-7285(年中無休:午前8時～午後9時)

主催: 大阪市立美術館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿、中日新聞社 協賛: NISSHA
後援: オランダ王国大使館、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、公益財団法人大阪観光局 協力: KLMオランダ航空
観覧料(税込): 一般2,200円/高大学生1,300円/小中学生500円
※未就学児、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は無料(要証明)
〔表紙〕フィンセント・ファン・ゴッホ(画家としての自画像) 1887年12月-1888年2月
ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム(フィンセント・ファン・ゴッホ財団) Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

- 美術館にある作品は、みんなの大切な宝物です。
- 走らずにゆっくり歩こう
 - 作品やケースにはさわらずに目で楽しもう
 - メモを取るときは鉛筆を使おう
 - お話する時は小さな声で

NHK番組情報

日曜美術館 放送予定 Eテレ 7月27日(日)午前9:00～
8月 3日(日)午後8:00～(再)

＼アートも歌もダンスも！／

The Wakey Show
ザ・ウェイクー・ショウ

NHK Eテレ 月～金 午前7:00～7:20
再 午後5:10～5:30

<https://nhk.jp/wakeyshow>

NHK Eテレで放送している、登校前の小学生に向けたおめざめ番組。ゲーム、ダンス、音楽ライブ、料理、コント、まち探検、英語の発音など、ココロとカラダをWake Upさせる楽しいコーナーが満載！

見どころ①「Wakeyのとびら」でアートを学ぼう！
メインコーナー「Wakeyのとびら」では、科学、自然、芸術、歴史などに詳しいキャラクターたちが、小学校で学ぶ教養を楽しく解説します。知られざる画家の生涯など、アートに関する情報も充実！

見どころ②思わず口ずさみたくなる「学びうた」
違う色の絵の具を混ぜるとどうなる？色のおもしろさをうたった「カラーパッション」など、うたうだけでさまざまな知識を自然に覚えらる「学びうた」シリーズ。アートがもっと好きになる新曲も制作中です。お楽しみに！

マリーゴール

カラーパッション

このジュニアガイドは、大阪市立美術館「大阪・関西万博開催記念 大阪市立美術館リニューアル記念特別展 ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢」の鑑賞の手引きとして小学校高学年から中学生を対象に作成しました。
制作: NHK、NHK プロモーション 編集: NATSUHARA,LLC 監修: 東京都美術館 デザイン: 栗谷川舞(スタビーデザイン)

Van Gogh Museum Amsterdam

展覧会公式サイトはこちら



2025.7.5(土) ————— 8.31(日)

NHK ジュニア ガイド

放送100年

ゴッホ Van Gogh

展

Van Gogh's Home The Van Gogh Museum.
The Painter's Legacy, the Family Collection, the Ongoing Story.

大阪市立美術館

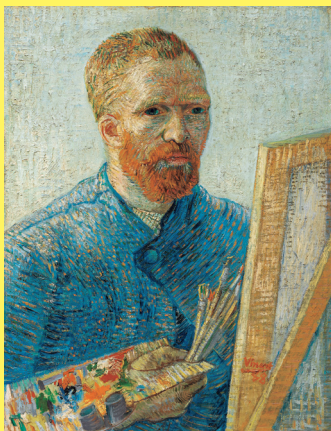
家族がつないだ画家の夢

家族がつないだ

画家の夢

100円割引クーポンコード ZAR973
※公式オンラインチケットサイト内で上記割引クーポンコードをご入力ください。裏面のQRコードからアクセスいただけます。
※1枚につき、2名様まで1回限り有効。他の割引との併用はできません。
※当日券料金に対しての割引です。

フィンセント・ファン・ゴッホってどんな人？ (1853-1890)



フィンセント・ファン・ゴッホは、1853年にオランダで生まれました。27歳で画家を目指し、10年間で約2000枚の絵を描きましたが、生きているあいだはあまり知られていませんでした。代表作には《ひまわり》や《星月夜》があります。フィンセントの絵は、鮮やかな色づかいと力強い筆づかいが特徴です。心の病気と闘いながらも絵を描き続け、37歳で亡くなりました。

フィンセント・ファン・ゴッホ《画家としての自画像》
1887年12月-1888年2月 油彩、カンヴァス
ファン・ゴッホ美術館、アムステルダム（フィンセント・ファン・ゴッホ財団）
Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent Van Gogh Foundation)

家族がっないだフィンセントの夢

フィンセントが亡くなったあと、その作品を守り、世界に広めた人たちがいました。特に中心となって動いたのは、3人の家族でした。弟のテオは、フィンセントが生きている間、お金の面でも気持ちの面でも支え続け、多くの作品を大切に保管していました。テオの妻ヨーは、その作品を整理して、どうすれば多くの人に見てもらえるかを考え、行動しました。また、フィンセントからテオへ宛てられたたくさんの手紙も整理して本にもまとめました。ヨーの努力があったからこそ、今わたしたちはフィンセントやその作品をよく知ることができるのです。

そしてテオとヨーの息子、フィンセント・ウィレムは、おじの作品を残していくために「フィンセント・ファン・ゴッホ財団」をつくり、ファン・ゴッホ美術館を開くために力をつきました。こうして、フィンセントの絵は今も多くの人に見られ、愛されつづけています。



フィンセントの弟
テオドルス・ファン・ゴッホ
(愛称テオ、1857-1891)*1



フィンセントの義妹
ヨハンナ・ファン・ゴッホ＝ボンゲル
(愛称ヨー、1862-1925)*1



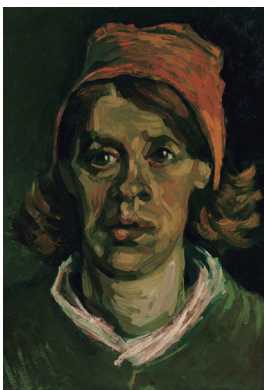
フィンセントの甥
フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ
(愛称エンジニア、1890-1978)*2

*1Credits of the photos: Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent Van Gogh Foundation)
*2©:unknown



画家フィンセント・ファン・ゴッホの足跡をたどろう

1 オランダ



フィンセント・ファン・ゴッホ《女性の顔》1885年4月 油彩、カンヴァス

はじまりの場所

フィンセントは1853年オランダに生まれました。画家になろうと決めたのは27歳のときでした。最初の3年間はスケッチの練習をたくさんし、その後油絵を描き始めます。農民の絵をよく描き、この絵もその一つです。赤と緑などの色の組み合わせが工夫され、暗い色の中にも工夫が見られます。

2 パリ 新しいスタイルと出会う街



フィンセント・ファン・ゴッホ《モンマルトル：風車と菜園》1887年3-4月 油彩、カンヴァス

1886年、フランスのパリに移り住みます。自分の絵が時代に合っていないと気づき、明るい色や新しい描き方を学んで、新しいスタイルを見つけました。フィンセントは大都会にいても、自然のあるモンマルトルを好み、この絵では春の畑で働く人々を、明るい色でやさしく描いています。

3 アルル 光と色を見つけた地



フィンセント・ファン・ゴッホ《種まく人》1888年11月 油彩、カンヴァス

1888年、南フランスのアルルへ引っ越し、南フランスのまばゆい光とあざやかな色彩を体験して、色づかいや筆づかいが力強くなりました。この絵では、画家ミレーの《種まく人》をまねて、自分なりの表現で工夫し、秋の夕暮れをすずかに描いています。

4 サン＝レミ 心と向き合った場所



フィンセント・ファン・ゴッホ《オリーブ園》1889年11月 油彩、カンヴァス

1889年にはサン＝レミの療養院に入院しますが、絵を描き続け、独自の表現を完成させます。オリーブを南フランスを表す木として、オリーブ園の絵をたくさん描きました。テオ宛ての手紙にも、寒くてもきれいな日ざしの中で作品を描いたことを書いています。この絵は、オリーブの木がリズムよくならび、短い筆の線がたくさん使われて描かれています。

5 オーヴェール＝シュル＝オワーズ

最後の筆あと

1890年、フィンセントはパリ近くの町オーヴェールへ移り住みます。新しい表現に挑戦し、この作品ではわらびき屋根の家と人々を力強い筆づかいで描きました。心の病気に苦しみ、同年7月、自ら命をたちます。絵を描いたのは約10年間ですが、多くの作品がファン・ゴッホ美術館にのこされています。



フィンセント・ファン・ゴッホ《農家》1890年5-6月 油彩、カンヴァス

